



三光幼稚園だより

6月号

<http://sanko-kg.minato-tky.ed.jp>

ブログ: <http://sanko-kg.minato-tky.ed.jp/blog>

X: <https://mobile.twitter.com/sankokg>



令和6年5月30日
港区立三光幼稚園
園長 藤井 未知江

体験を大切に

園長 藤井 未知江

今年も本園の梅の木や琵琶の木に実がなり、間もなく収穫を迎えます。ここ数年、毎年実をつけ、子どもたちが収穫を楽しみにしています。ある日園庭で遊んでいた3歳児たんぽぽ組のAちゃんが、「ほら！」と嬉しそうに園庭に落ちていた杏の実を見せてくれました。「あら、どこで拾ったの？」と聞くと「あっちだよ、いい匂いがするの」と言い、嬉しそうにその他の教員や近くにいた友達に見せていました。

このように子どもたちは園生活の中で、実際にももの触ったり匂いをかいだりなどの体験をたくさんしています。実の中身を見たり、さらに実がなっていた木の様子を見たり、実の皮の表面にはたくさんの産毛のような毛が生えていること、その感触など様々な情報を肌で感じ、興味や関心がさらに広がっていきます。なぜだろう？不思議だな、と思う気持ちから、好奇心や探求心が育まれていきます。

今、子どもたちは、家庭では絵本、図鑑、タブレットなどメディアを通じて物事を知る、あるいは疑似体験をすることがあると思います。これらはツールとしては活用の幅が広く、素晴らしい可能性があるものだと考えます。しかし知識として得たものは、実際の体験と結びつくことで、さらに興味や関心が深まることがあると思います。

これからも幼稚園では体験を通して、子どもたちの学びの芽を育てていきます。引き続き、子どもたちのために温かいご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

✧ 教育目標 ✧

じょうぶで元気な子
豊かな心をもつ子
自ら考えて行動する子



樹齢60年近い梅の木



今年もたくさん実を付けた琵琶の木

6月の保育のねらい

3歳児たんぽぽ組

- 遊びに必要な約束や言葉を知り、教師と一緒に使いながら遊ぼうとする。
- 着替えや身支度など身の回りのことについて、自分で最後までしてみようとする。
- 泥や砂、水などの様々な感触を楽しみながら遊ぶ。



4歳児ちゅうりっぷ組

- 友達と関わって遊ぶことを楽しむ中で、自分の思いを言葉や動きで伝えたり、友達の思いに気付いたりする。
- みんなでする活動に喜んで参加し、友達と同じ動きをしたり触れ合ったりしながら遊ぶことを楽しむ。
- プールやシャボン玉、泥遊びなど、興味のある物に自分から関わって遊び、開放感や気持ち良さを感じる。



5歳児すみれ組

- 自分なりにイメージや目的をもち、工夫したり考えたりしながら遊ぶことを楽しむ。
- 三光まつりに向けて、グループの友達と考えを出し合いながら、共通の目的をもって一緒に活動を進めることの楽しさや達成感を味わう。
- プールや水遊びなど、季節ならではの遊びを通して、様々なことに気付いたり、水の感触を楽しんだりする。



